



ソウル事務所

「第3回クレアソウルセミナー」を開催しました!

2023年12月7日・8日の2日間、韓国に駐在する日本の地方公務員などを対象にセミナーを開催しました。今回のセミナー では、歴史的に見ても日本とのつながりの深い忠清南道、行政都市として発展を遂げる世宗特別自治市を視察しました。

忠清南道では、韓国最大の高麗人参製造会社である韓国人参公社の工場および韓国最大規模の歴史テーマパークである百済文 化団地、国立扶余博物館を視察し、韓国の歴史への見識を深めるとともに、歴史遺産が地域の観光資源としてどのように活用さ れているのかヒアリングを実施しました。

世宗市では、市長への表敬訪問、施策に関する意見交換、開発が進む自動運転車への試乗、警備ロボットの視察などを実施しま した。政府主導で国家機関や研究機関の移転が進む世宗市は、急速な土地開発が進んでおり、少子化や人口減少が進む韓国におい て、平均年齢が最も若く(38.3歳)、人□増加(2013年:約12万人→2023年:約40万人)が進んでいる稀有な地域です。「世

宗は未来だ」をスローガン に「スマートシティの促進」 「住民福祉、教育・子育て 環境の充実」など、多方面 に積極的な施策を展開して おり、他の地域にはない熱 気と今後の発展への期待感 を感じることができました。

今後も韓国内の地方自治 体における最新の施策など を学ぶ中で、セミナー参加 者の韓国に対する見識を深 め、草の根での日韓の相互 理解・交流促進に努めてい きます。



セミナーの様子(世宗特別自治市長表敬、百済文化団地)

北京事務所

「第7回吉林氷雪産業国際博覧会」が開催されました

2023 年 12 月 15 日から 19 日まで、吉林省長春市において「第7回吉林氷雪産業国際博覧会」が開催され、クレア北京事務 所も参加しました。

吉林省は森林が多く、スノースポーツが盛んなアルプスやロッキー山脈と同じ緯度帯に属していることから、豊富な氷雪資源 を活かした氷雪産業の発展に力を入れています。その一環として開催された本博覧会は「氷雪経済の振興、長白山粉雪の共有」 をテーマとしており、開幕式では景吉林省書記やフランジアリ世界観光機関名誉事務総長などが挨拶を述べられました。

展示エリアでは、氷雪 リゾートを有する吉林省 などの各地方政府がブー スを出展し、映像やマス コットなどを活用しなが ら地域の魅力を積極的に アピールしていました。

本博覧会にはスノース ポーツの先進地である欧 州や北米をはじめとする 海外からも多くの参加者 があり、吉林の氷雪産業 の発展に対する期待の高 さがうかがえました。





吉林市ブースの様子



シンガポール事務所

日本の地方の食材の魅力を伝える料理教室をシンガポールとタイで開催

クレアシンガポール事務所では、2023 年 10 月から 11 月にかけて、ABC クッキングスタジオと連携して、日本の地方の食 材の魅力を伝える料理教室をシンガポールとタイ(バンコク)で開催しました。両国ではそれぞれ日本の自治体から自慢の食材

をご提案いただき(シンガポール:静岡県・沖縄県・福岡市、タイ: 川梨県・沖縄県)、いずれも多くの参加者で賑わいました。

レッスンにはインフルエンサーや地元メディアを招待し、レッス ンの様子・日本産食材などについて広く発信する機会を設けました。 また、各会場で自治体 PR 動画の上映や、自治体のグッズ・観光パ ンフレットの配付など、物産だけでなく観光も含めた地方の魅力発 信を行いました。

レッスンで使用した食材はシンガポールおよびタイの両国の参加 者に大変好評で、食材自体の魅力を伝えるだけでなく、日本の自治 体を知るきっかけにもなったほか、アンケートを通じて、本事業が 食材の購入意向の高まりや新たな需要の開拓に寄与したことが判明 するなど、日本産食材のさらなる普及の可能性を感じさせる結果と なりました。





レッスンの様子(シンガポール)

レッスンの様子(タイ)



ロンドン事務所

在ドイツ日本国大使館にて JET プログラム説明会およびレセプションに参加 JET 経験者などと交流

2023年10月28日、在ドイツ日本国大使館にてJETプログラム説明会およびレセプションが開催されました。 説明会では、北浦公使によるご挨拶を皮切りに、大使館による JET プログラムの概要説明、JET 経験者 3 人によるプレゼン テーションや質疑応答が行われました。プレゼンテーションでは、ドイツからの訪問者受け入れなどの交流事業や翻訳・通訳業 務、小学校での絵本の読み聞かせや、海外都市への出張同行など派遣先での幅広い業務内容に関する紹介がありました。また、

生活に関することとしては、マラソンや夏祭りなど地 域のイベントに積極的に参加するなど、充実した時間 を過ごした旨が説明されました。また、質疑応答では、 JET プログラムの応募資格、倍率など応募全般に関す る質問のほか、JET プログラムの経験を踏まえたその 後のキャリアパスなどについても質問があり、JET経 験者が自らの経験を踏まえ回答していました。

その後、JET 経験者や大使館関係者を招いたレセプ ションが開催され、参加者は日本での思い出や、現在 の日本とのつながりなどについて歓談していました。



説明会の様子



レセプションの様子



シドニー事務所

「キャンベラ奈良キャンドルフェスティバル」と姉妹都市提携 30 周年記念レセプションに参加

2023年11月4日、奈良市の姉妹都市であるオーストラリアの首都キャンベラで「キャンベラ奈良キャンドルフェスティバル」 が開催されました。このイベントは両市の姉妹都市関係を祝して開かれているもので、2023 年は姉妹都市提携 30 周年を迎え る記念の年でした。

会場には日本の音楽を披露するパフォーマンスステージのほか日本食販売ブースや在豪日本国大使館による折り紙やけん玉の 体験ブースなどが設けられ、多くの来場者が訪れました。日没後はキャンドルが灯され、会場は幻想的な雰囲気に包まれました。

クレアシドニー事務所は、大使館ブースの一画で、 奈良市を中心に日本全国の観光 PR を行いました。日 本旅行を予定している人などが続々とブースを訪問 し、中には、旅行の計画を嬉しそうな様子で話してく れる人もいました。

また6日には、在豪日本国大使館で開催された周年 記念レセプションに参加し、両市の関係者とともに 30 周年を祝いました。

今後もクレアシドニー事務所は、姉妹都市交流を きっかけとした日本とオーストラリアの文化交流の推 進に尽力してまいります。



クレアシドニー事務所のコーナーで 観光パンフレットを吟味する来場者



キャンドルとイルミネーション展示



ニューヨーク事務所

ジョージア州ディケーター市で自治体訪問研修を行いました

2023 年 9 月 24 日から 27 日にかけて、クレアニューヨーク事務所の1年目職員を対象に、日本との法制度の違いやベストプ ラクティスなどについて学ぶ研修がジョージア州ディケーター市において実施されました。

ディケーター市は、人口約2万5,000人で、約200年の歴史を持つ、ディカルブ郡の郡都です。アトランタ市街地から鉄道 (MARTA) で 15 分程度という利便性の高い駅は市中心地の地下に整備されています。その駅の地 上を広場として活用し、国際的な NPO と連携したアート作品を計画的に配置することで、歴史的 景観を保全しつつ、街の賑わいを創出しています。

市長、市委員会委員(日本でいう市議会議員)、市行政の代表であるシティーマネージャー、市

行政役員も含め、その多くが女性です。また、市長、委員会、行 政、市民の距離間が非常に近く、毎月2回開催される市委員会の ワークセッション(日本でいう市議会)では、市民が直接発言す る機会を設けるなど、市民の声を丁寧に拾い上げ、施策に反映し ていくための工夫が凝らされています。

クレアニューヨーク事務所職員は市内各地を視察しながら、財 政、公共事業、都市計画、観光・アート、警察など、各部署責任 者から説明を受けました。各責任者のヴィジョンが統一されてお り、自らの職務について活き活きと語る姿が印象的でした。



美しい景観は映画の撮影地として 活用されている



地域のベンチャー企業が開発 した商品を行政が先行導入



パリ事務所

フランス東部最大規模の日本のポップカルチャーイベントで金沢を PR

2023年12月2日、3日の2日間にわたり、ナンシー市で「アニメスト」が開催されました。このイベントは、学生主催の 日本のポップカルチャーイベントとしてはフランス東部最大規模で、今年で20回目を迎えました。

2023年は、金沢市とナンシー市の姉妹都市提携50周年の節目の年にあたることから、今回金沢市が初めて出展しました。 ブースでは、金沢市派遣のクレアパリ事務所職員のほか、金沢市からナンシー市に留学中の学生、金沢市役所でインターンシッ プを経験したナンシー市の学生など、日仏学生ボランティアが協力し、金沢の魅力を発信しました。来場者からは、「来年、日本

に行く予定だが、何日あれば金沢を楽しむことができる か、どの季節がおすすめか! などの具体的な質問があり ました。

また文化体験コーナーの和菓子の食べ比べは行列がで きるほど人気で、金沢の特産品の金箔貼り体験は大人も 子どもも真剣に取り組み、どちらも大好評でした。

さらに、金沢のプロサッカークラブの公式マスコット 「ナンシー」(名前はナンシー市に由来) も会場を訪れ、 来場者の人気を集めていました。



金箔貼り体験の様子



来場者と記念写真を撮るナンシー



JET プログラム事業部

2023 年度 AJET 全国役員意見交換会

クレアは、年に1回、JET プログラムの円滑な運営とさらなる発展を図るため、現役 JET プログラム参加者(現役 JET 参加 者)の代表として National AJET (The National Association for Japan Exchange and Teaching) と関係3省(総務省、 外務省および文部科学省)との意見交換会を実施しています。AJETとは、現役 JET 参加者有志によって地域ごとに構成された 団体であり、参加者間の互助を図るとともに、JET プログラムの実施についても側面的な協力活動を行っています。National AJET は、日本各地で活動するそれらの AJET を統括する組織です。

2023年度は12月8日に、クレア東京本部に て開催しました。National AJET からは、会長、 副会長をはじめ役員9名が出席し、現役JET参 加者の「声」を関係3省およびクレアに伝えまし た。午前の部では、National AJET が現役 JET 参加者を対象に実施した調査に基づき、参加者の 現状について報告を行いました。午後の部では、 AJET からのさまざまな質問にクレアが回答する 形で活発に議論を行いました。JET参加者が抱 える悩みなどを的確に把握するために、引き続き AJET と連携してまいります。



National AJET 会長および副会長に National AJET 役員 よるプレゼンテーション





経済交流課

2023年度第3回「食を通じた地域のプロモーション・交流事業」を実施しました!

クレアでは、日本の食文化などに関心を寄せる海外の消費者などを日本各地へ招へいし、 FAM ツアーを実施することで、地域の魅力を国内外に発信するとともに、自治体の海外販 路開拓やインバウンド促進に向けた機運を醸成することを目的とし、食を通じた地域のプロ モーション・交流事業 (FAM ツアー事業) を実施しています。

本事業は、日本およびアジア各国に料理教室を展開する株式会社 ABC Cooking Studio (本社:東京都千代田区丸の内)と連携して実施しており、2023年度第3回目のツアーでは、 ABC Cooking Studio のタイ教室に通う生徒3名を招へいし、和歌山県有田地域(有田市、 湯浅町、広川町、有田川町) でツアーを開催しました。

インフルエンサーとして活躍する被招へい者3名には、有田地域特産のみかんを堪能する 体験(みかん狩り・選果作業見学)や、新鮮な海の幸を味わう体験(魚捌き・寿司握り・セ リ見学)のほか、ワイナリーや酒蔵の見学など、有田地域の魅力がたっぷり詰まったツアー を体験していただき、有田地域の魅力を海外に向けて発信するとともに、需要の喚起や認知 度の向上を図りました!

今後も引き続き、地域の魅力発信をサポートしてまいります。事業の詳細はホームページ をご覧ください。https://economy.clair.or.jp/activity/project/

■お問い合わせ

経済交流課 Tel: 03-5213-1726 Mail: keishin@clair.or.jp



寿司握り体験を楽しむ様子



JA ありだ ありだ共選にて



海外自治体幹部交流協力セミナー (パリ事務所管内) を実施しました!

2023年11月20日から24日にかけて、東京都と岡山県高梁市でフランスの自治体幹部4名を迎え、セミナーを開催しまし た。東京都では明治大学の木村俊介教授から日本の地方自治制度について講義を受け、総務省では地方自治体で介護福祉分野に 携わった出向経験者から介護保険制度について学び、意見交換を行いました。最終日には都庁を訪れ、都議会のシステムや選挙 制度について学びました。

高梁市では、市長から市の概況を聞き、2つのテーマ「地域とつながる高齢者の居場所づくり(福祉)」と「ジャパンレッド発 祥の地を世界へ発信∼観光交流人□の拡大を目指して∼(観光)」に基づくセミナーを実施し、福祉セミナーでは、健康福祉部の

担当者から介護予防の取り組みについて説明を受 け、地域ボランティアで運営する通所型施設を訪 問し利用者と交流しました。観光セミナーでは、 備中松山城や吹屋地区を訪れ、地元の方から歴史 や地域を支えた産業跡の保全と観光活用について 学び、また、国の重要無形民俗文化財である備中 神楽を演舞する子どもたちとの交流もありまし た。いずれのセミナーも参加者からは高い関心が 寄せられ、活発な意見交換が行われました。



近藤高梁市長(前列右)表敬訪問



吹屋地区で説明を受ける参加者



多文化共生課

多文化共生先進取組事例「体験塾」in 富山を開催しました

多文化共生先進取組事例「体験塾」は、多文化共生にかかる先進的な取り組みの事例を学び、施策立案スキルの向上とともに、 参加者間のネットワークの構築を図ることを目的とする実地研修です。2023年度は、第1回を佐賀県佐賀市で開催し、第2回 は、富山県富山市と射水市において、「外国ルーツを持つ人の活躍、外国ルーツを持つ子供の支援」をテーマに、11月に1泊2 日で開催しました。

今回、ファシリテーターを NGO ダイバーシティとやまの宮田妙子氏と柴垣禎 氏に務めていただきました。全国各地から集まった参加者が、富山県内の多文化共 生の活動をしている団体の講義や視察を通して、それぞれの地域でどう活かしてい くかワークショップで掘り下げました。

参加者からは、「自分の偏った考え方に気づくことができた」「ルールに捉われず、 地域に合う形で取り組みたい」など新たな気づきや前向きな感想をいただきました。 それぞれの地域で体験塾での学びが活かされること、その取り組みが全国に広がっ ていくことを願っています。

また、2024年度も引き続き体験塾を開催する予定です。詳細が決まりましたら ホームページなどでお知らせいたしますので、奮ってご参加ください。



多文化こどもサポートセンタ・ での視察の様子